

実務から紐解く！ 経理DXのすすめ方と効果的な活用法

対象

- 経理・財務部門の方
- 経理部門のDXを推進したい経営者・役員・情報システム担当の方

開催趣旨

会社をとりまく環境が大きく変わり、経理を含め、企業活動のデジタル化、効率化が企業価値を高めるカギとなっています。しかし、経理部門においては、他部門に比べてDXが思うように進みづらい傾向があります。

経理部門のDXが中々進まない原因を把握し、デジタルインボイスなど社外との請求書/領収書のやりとり、DX導入後の経理社員のキャリアアップについて、事例を交え、経理DXにおける留意点と展望を網羅的に解説いたします。

本セミナーのゴール

- ① 経理のデジタル化が進まない背景とその理由を理解する。
- ② 経理のデジタル化の特徴を踏まえた上で現実的・段階的な進め方を習得する。
- ③ デジタル化後の経理の働き方やスキルアップについて理解する。

日時

<LIVE 配信> 2025年6月12日(木)10:00~16:30
<見逃し配信> 2025年6月19日(木)~6月26日(木)
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

講師

株式会社経理がよくなる/児玉上野税務会計事務所
税理士・中小企業診断士 **上野 一也 氏**

参加料 (負担金)

NOMA会員 35,200円(税込)/名
一般 42,900円(税込)/名

申込方法

■株式会社ファシオが運営するサイト Deliveru からご受講いただきます。
お申込みは、Deliveru、本会HP のどちらからでも可能です

■Deliveru から申込

- ① Deliveru [https://shop.deliveru.jp/]でセミナーを検索し
- ② セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください
(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)
- ③ 購入後、確認メールが届きます

■本会HP から申込

- ① 本会HP[https://www.noma.or.jp/]でセミナーを検索し
- ② 「WEB 申込」からお申込みください
- ③ 申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます(お支払方法:請求書による銀行振込)

見逃し配信 & 4画面配信

いつでもどこでも何度でも受講できる
見逃し配信付きです！

- ①見逃し配信では
 - ・見逃し配信期間でも、講師へ質問が可能です
 - ・繰り返しご受講でき、講義の復習もできます
 - ・チャプター形式でお好きな場所から見返せます
 - ・倍速機能で効率よく学習できます
- ②資料はデータ提供です
- ③ご自身で拡大したい画面を選択できます。
マルチデバイスにも対応しております



NOMA HP

日本経営協会 セミナー 🔍 検索

受講方法

- ・登録メールアドレスに、受講 URL/ID 等詳細のご案内が届きます(Live 配信日の概ね 3 営業日前)
- ・カメラ、マイクのご準備は不要です
- ・テキストのダウンロードは、LIVE 配信日の3~1 営業日前にサイト内でできるようになります
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします
- ・受講証明書はサイト内でダウンロードしていただけます

キャンセル ポリシー等

- ・開催日の5営業日前~当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。
- ・天災その他の不可抗力等により講師が登壇できない場合、講師の変更または延期させていただく場合がございます。

主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 本部事務局 企画研修 G
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 13 階) tms@noma.or.jp

申込問合せ

株式会社ファシオ 03-6304-0550(平日 10 時~17 時) bcs-info@vita-facio.jp

プログラム

1. 経理の DX 推進が求められる理由

- (1) 経理デジタル化が進みにくい背景、インボイス制度と電帳法による経理のデジタル化の現状
- (2) 経理のデジタル化 3つのメリット
- (3) 経理部門の DX の取り組み状況と今後の課題

2. 失敗しない経理 DX の進め方

- (1) デジタル化で逆に仕事が増えてしまった会社の特徴
- (2) デジタル化しても効率が上がらない4つの理由
- (3) デジタル化の効果を享受するために必要なこと
- (4) 経理のデジタル化を進める際の注意点

3. 経理部内から始めるデジタル化

- (1) 会計伝票、各種帳簿、財務報告資料の電子保存と活用
- (2) 預金処理はインターネットバンキングと仕訳連動
- (3) 2026 年までに紙の手形廃止し”でんさいネット”へ移行
- (4) e-Tax、eLTAX で税務申告・納税手続きを効率化

4. 社内業務のデジタル化

- (1) 法改正にからめた他部門への協力依頼
- (2) 立替経費精算フローをデジタル化
(領収書の AI-OCR 処理)
- (3) 仕入・経費の申請、承認、計上、送金をデータ連動
- (4) 売上の計上と売掛金の消し込みをデジタル処理

5. 社外取引書類のデジタル化

- (1) まずは電子取引のデータ保存要件の理解
(真実性・可視性とは何か?)
- (2) インボイスのスキナ保存と会計帳簿との相互関連性
- (3) 請求書デジタル化後の会計処理と債権債務管理の効率化

6. 経理の外部環境のデジタル化への対応

- (1) インボイス制度で変わった経理処理と会計システム
- (2) デジタルインボイス Peppol と全銀 EDI の活用による効率化
- (3) Peppol の状況と課題・導入検討時の注意点
- (4) IT ツール／クラウドサービスの評価選定と導入の進め方

7. デジタル化後の経理の仕事

- (1) 経理 DX 後の時間とコストの改善効果
- (2) デジタル化する業務とあえてアナログで対応する業務
- (3) 経営に貢献する時間を増やし、経理人材としてキャリアアップ

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただく場合がございます。

講師紹介

株式会社経理がよくなる／児玉上野税務会計事務所

税理士・中小企業診断士

うえの かずや
上野 一也 氏

【講師略歴】

1976 年生まれ。慶應義塾大学理工学部卒業後、ヤマハ株式会社へ入社。情報システム部門に8年間勤務し、社内システムの設計・運用に携わる。

その後、会計事務所へ転職し現在に至る。税理士業務のほか、経理システムの改善、財務分析、経営計画の策定 支援などを中心としたコンサルティング活動を実施。経理社員のキャリアアップにも力を入れ、経理向けの研修を多数実施する。経理関連の雑誌に記事を多数執筆。

【主な著書】

- ・「経理実務がスマートになるCSVの“超”活用術」(清文社)
- ・「30 代からの仕事に使える「お金」の考え方」(共著・ちくま新書)
- ・「3年で「経理のプロ」になる実践PDCA」(共著・日本実業出版社)
- ・「会計データの価値を最大限引き出す Excel 活用術」(清文社)
- ・「経理DXのトリセツ」(共著:日本能率協会マネジメントセンター)

メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。



メールマガジン登録用 QR

登録はこちら→

※年間の講座スケジュールを本会 HP で公開しております。

TOPICS 事業のトピックス

本会 HP 画面です

民間向けセミナー:

令和6年度(2024年度)「年間開催計画」

本部事務局(東京) 関西本部 / 中部本部 / 九州本部 / 北